



あした

明日もしあわせ通信 (第70号) 令和4年4月号

70号に寄せて

平成28年4月に子ども総合センターが誕生し、その3か月後の7月に「明日もしあわせ通信」が創刊されました。そのなかで初代堀泰徳センター長は「皆さんにセンターを身近に感じていただくため、『明日もしあわせ通信』をお届けすることになりました。(中略) いろいろな情報を発信し、市民の皆さんから愛される情報誌にしたいと思っています」と語っておられました。

この4月から子ども総合センターは、7年目のスタートをきりました。「明日もしあわせ通信」も第70号を発刊することができました。歴代の職員の皆様が、それぞれの思いや願いを、文字にして伝えてくださいました。はたして堀センター長の願いどおりの、皆さんから愛される情報誌に育っていればありがたい

のですが。

皆様から、「いつも読ませていただいています」「楽しみにしています」「文字が多くて読みにくいです」「もっとイラストを多くしたら」などの感想をいただいています。ありがたいことです。

また、通信とともに歩んできた子ども総合センターも、皆さんにとって身近な存在であり、共に手を携え、この通信同様、これからも「皆さんから愛される」センターでありたいと願っています。



(DOIG)

適応指導教室「はばたき」～「元気な心と身体づくりを目指して」

はばたき教室に頑張って通っている子どもたちも、3月でそれぞれの学年を修了しました。一年の間に子どもたちは、悩んだり苦しんだりしながらもそれを吹き飛ばそうとよく頑張り、様々なことにチャレンジして心を強くしてきました。特に頑張ったことを紹介します。

- ・ 一つ目は学校には行けませんが、自分の目指す進路に進みたいと自分と向き合って「チャレンジを続け、高校に合格」したこと。
- ・ 二つ目は体を動かすことが苦手な子どもスポーツや野外活動に参加し「元気な身体づくり」をしたこと。
- ・ 三つ目はどんなに悔しくてもしんどくても、あきらめずにはばたき教室に通い、「自分に負けない心づくり」に挑戦したこと。

子どもたちにとって勉強はもちろん大切ですが、心を元気にすることが何より大切だと思います。心が元気になると、意欲が出て自分で学習を始めます。その日が来るまで

「あせらず、慌てず、自分の足で確かな一歩を踏み出せる」

よう支援をしていきたいと思ひます。

道草していいの？

学校の帰り、道草をよくしていたものだ。

春。 麦笛や豆笛を作りピーピー鳴らして帰った。鶯の鳴き真似をして、鶯とやりとりを楽しんだこと。

夏。 カエルの卵を見つけ、それをつかんだ時の手の感触。カバンを放り投げ、セミ取りに夢中になった。

秋。 落ちていた紅葉を川に投げ込み、友達とその紅葉が流れていく先を走って追いかけて着順を楽しんだ。

冬。 誰からともなく始まった雪合戦。ケンカ別れをして一人帰った事もあった。

道草の経験を通して、自然の美しさ、生命の不思議さ、人との関係性等、理屈で分からなく

ても体験から得た物が多くあったように思う。

ところで今の子どもたちはどうだろう。日々学習塾や習い事に追われ、家に帰ればゲームに夢中。バーチャルな世界の中にどっぷりと浸かり時間を費やしている。その是非は分からないが、昨今報じられている事件（相手は誰でもよかつた。一緒に死にたかつた。）は気にかかる。

自然体験から学ぶ事・気付くことは、生きる知恵を獲得することにつながっていく。新年度のスタート。新1年生が真新しいランドセルを背負って登下校する姿が目に浮かぶ。

・・・さて、さて、道草できるかな？ (K・H)



センター長のつぶやき

となりのチカラ

テレビドラマのタイトルである。

優柔不断で困っている人を放っておけないチカラ（松本潤）の家族4人が、マンションに引っ越してきた。

そこで起こっている、児童虐待、認知症、外国人技能実習生、親子関係などの問題にチカラが関わっていく。妻に叱責されながらも放っておけないチカラ。第5話では、ちょうど先日学習したばかりの「ミュンヒハウゼン症候群」（子どもに病気を作り、かいがいしく面倒をみることにより自らの心の安定をはかる）が取り上げられていた。

私は、ドラマを見ながら、チカラに「負けるな！頑張れ」とエールを送っている。



皆さんの近くにもチカラがいることでしょう。あなたがチカラかもしれませんね。

何千人もの命を奪うことを正当化するリーダーがいる。隣国の状況を放っておけないチカラが今こそ求められている。(DOIG)

《巡回発達相談》

「お子さんのいい所はどこですか？」と伺う機会がありました。「うちの子は優しい子で、親を気遣ってくれます。私の体の調子が悪かった時、『ママ、大丈夫？』と心配して絵を描いて私のお腹に貼ってくれました」とおっしゃいました。愛情溢れる家族の光景が目に浮かび、温かい気持ちになりました。

子育て中、時には子どもが思うような行動をしなくて悩むこともあるでしょう。そういう時こそ、親は子どもの良い所に目を向けてみてはどうでしょう。褒められて嬉しいという成功体験を積み重ねられるようにすることが大切です。同年代のお友だちと一緒に沢山遊ばせましょう。

4月には新しい出会いが待っています。「一期一会」大切な出会いがお子さんの成長を促してくれることでしょう。(K)



伊予市子ども総合センター

〒799-3127 伊予市尾崎3-1

☎989-6226

伊予市総合保健福祉センター2F